

「ジビエを食べに高知へ行こう」²⁰²³ 号外

頑張る高校生 高知商業高校ジビエ部の活躍 (新聞コン)

新聞コンクール 特別部門 最優秀賞受賞



高知県の野生鳥獣被害という地域課題に目を向け、ジビエを活用した商品の開発と販売活動で得られた利益で森林保護活動を支援している高知商業高校のジビエ部は、毎月1回、校内生徒と保護者、教職員を対象に発行しているジビエ部通信「ジビエを食べに高知へ行こう」2023年6月号で、**第27回高知県高等学校新聞コンクール特別部門最優秀賞を受賞**しました。

同通信では、ジビエ部企画課を中心とし、ジビエ部が取り組む日々の活動や循環型社会の実現に向けたプロジェクト、販売予定を紹介しており、部員が持ち回りで記事を書いています。本年度で3回目の最優秀賞受賞となりました。

令和5年12月25日(月)、高知新聞社で表彰式が行われ、ジビエ部から公家 悠希 経営部長、前田 和珠 運営部長が出席しました。

Keep Changing
Keep Challenging

受賞作品 (6月号) 12月23日発行の12月号



高知商業高校ジビエ部通信
@企画課 企画・広報班
Wednesday, 27th, December, 2023.
KEEP CHANGING, KEEP CHALLENGING

報本反始の精神を未来へつなげる

2018年の活動開始以来、先輩たちがつくりあげてきたものを少しずつアレンジしながら情報発信を続けてきました。

ジビエ部 経営部長 公家 悠希



私たちジビエ部は循環型社会実現に繋げるために様々な活動を行っています。しかし原点は、ジビエを活用した商品開発・販売を行い、森林保護を支援することです。そしてそれを広めるために先輩が考案したのが今回受賞したジビエ通信です。現在は、ジビエ部当初からは多様化し、高校生ジビエ・レストランや外商活動、食育活動など多くの事業に挑戦し様々な視点からジビエ活用を促進させています。そのようなたくさんの事業に参入するようになった中でも先輩が作り上げたジビエ通信を必ず毎月配信していたという継続性と、先輩の思いを大事にする部員の心が今回の受賞の鍵だったと考えます。今年も、ペットフードに参入し、内臓系を使用することでより無駄なくジビエを使い、ジビエ活用の新たな価値を生み出すことができました。来年はジビエ活用という観点からより社会とつながりを持てる活動がしたいと考えております。来年もジビエ部をどうぞ宜しくお願いいたします。

めざせ循環型社会の実現

右イラスト
ジビエ部 西村 心夢

広がれ高知 SDGs の輪

ジビエ部 運営部長 前田 和珠



この度は、新聞コンクールにて先輩たちから受け継ぎ、続けてきたジビエ通信が特別部門で最優秀賞を受賞したことを嬉しく思っています。この受賞に満足せず、これからもより良いジビエ部通信を作成・配信し続けていきたいと思っています。

今年ももう終わりに近づいており、一年を振り返る時期となりました。私は、今年一年のジビエ部の活動を振り返り、2023年は本当に多くの方にジビエ部の存在を知ってもらうことができ、ジビエ部が大きく成長できた年だったのではないかと思います。同時に、これからも成長し続けていかなければならないなど実感しました。

2024年は北海道北見市や常呂高校さんとコラボしたお弁当開発や高知県立盲学校さんとの活動などをはじめとし、更にジビエで高知の陸の豊かさを守る活動が出来ればと考えています。2024年もジビエ部をよろしくお願いいたします。

今年一年本当にありがとうございました。よいお年をお迎えください。